

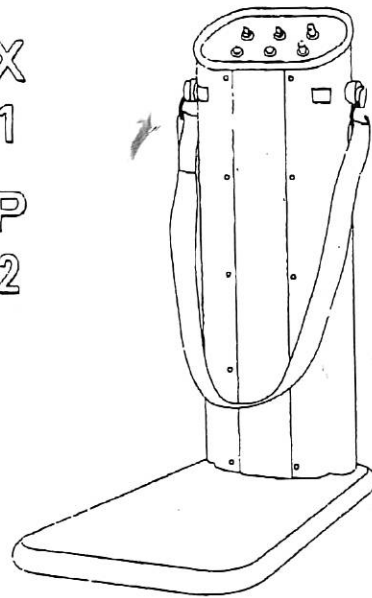
取扱説明書

ベルトトレーナー-DX

品番 ROE-771

ベルトトレーナー-SP

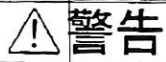
品番 ROE-772



- * コンピューター社会での複雑な肩凝りの回復に！
- * 五十肩や腰痛の予防や改善に！
- * ストレス時代の心身のリフレッシュに！
- * 筋肉や靭帯の機能回復や老化防止に！
- * 運動前の障害予防や運動後の疲労回復に！

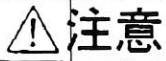
安全上のご注意

ご使用前にお読み下さい。



警告

・・・この表示のある内容を見逃して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

・・・この表示のある内容を見逃して誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

・・・異常が発生したとき

煙が出ている、おかしい臭いがするときなどは、電源プラグを抜く

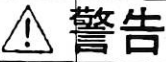
・販売店に修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜く

・販売店に連絡して下さい。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因となります。



警告

・・・おやめ下さい

不安定な場所に置かない

・傾いた所には、置かないで下さい。倒れたりして、けがの原因となります。

指定の電源圧（AC100V）以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。

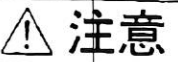
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。

加工する、無理に曲げる、引張る、重い物をのせる、熱器具に近づける、カバーをはずすなどの分解や改造はしない

ぬらさない

・火災や感電の原因となります。

・屋外や風呂場などの湿気の多いところでは、使用しないで下さい。



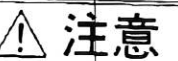
注意

・・・おやめ下さい

電源コードは、コードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

・プラグの部分を持って抜いて下さい。



注意

・・・お守り下さい

お手入れするときは、電源プラグを抜く

・電源が「切」でも、機器に電気が流れていますので感電の原因となることがあります。

長時間使用しないとき、移動するときは、電源プラグを抜く

・電源が「切」でも、機器に電気が流れていますので安全のためにお守り下さい。

正しい使い方

*使用中におこる事故のほとんどは、ちょっとした注意で未然に防ぐことができます。正しく使用して下さい。

使用時のご注意

注意 ……お守り下さい

- 平坦な床面にがたつきのないように安定した状態で設置し、安全に動けるスペースを十分にとって使用して下さい。
- 万一の危険防止や静電気からの保護のため、アース線を必ず接続して下さい。
- ご使用の前に各部分の点検を行い、著しい変形や破損がみられた場合は使用しないで下さい。
- 無理な負荷をかけないで、ベルトは適度に張った状態で使用して下さい。
- 警告表示が貼付してある部分は、特に注意して下さい。
- 身体に病気や障害がある方は、運動を始める前に必ず専門の医師にご相談下さい。
- 運動中に身体に異常を感じたら、すぐに運動を中止して下さい。
- 本来の目的以外では使用しないで下さい。
- 本商品は一人用です。同時に複数での使用は、おやめ下さい。

移動、運搬時のご注意

注意 ……お守り下さい

- ベルトトレーナーの重量を十分に保持できる人数で行って下さい。
- 電源プラグを抜いてから行って下さい。電源プラグを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

利用の目的

- (1) 身体の主動筋(肩・腰・臀・脚など)の疲労および老化の予防
- (2) 身体の主動筋(肩・腰・臀・脚など)の筋肉に「重い、だるい」の自覚症状を感じたときの解消
- (3) スポーツ障害(筋肉や靭帯損傷など)の予防や運動後の疲労回復
- (4) 五十肩や腰痛などの慢性的疲労の予防および改善
- (5) 外科的な筋肉靭帯などの機能回復
- (6) 心身のリフレッシュ

特 徴

- * 「もむ」、「ふるわせる」の2つの動作で効果的に筋肉などの疲労を回復させます。
- * ベルトの振動と体重のかけ加減で筋肉の緊張度に応じた調整ができます。
- * 太幅（シングル）、細幅（ダブル）のベルトが標準装備されていますので活用範囲が広がります。

「もむ」・・・・・・疲労によって緊張（収縮）した筋肉をほぐし、疲労物質を送りだすとともに筋肉を緩める。

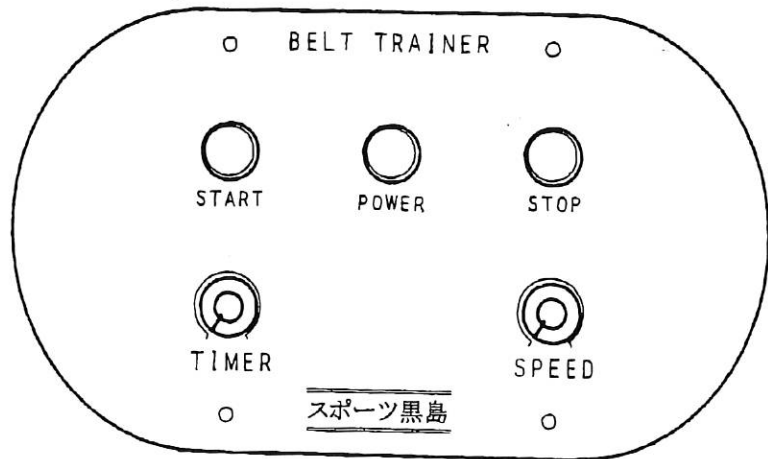
「ふるわせる」・・・・血液循環を促進させ、酸素や栄養を供給するとともに疲労物質を回収し疲労を回復させる。

操作方法

DX (ROE-771)

手動でお使いの場合

1. 先ず最初に、使用目的に合ったベルトを取り付けて下さい。
2. 次に、電源コードをコンセントに差し込んで下さい。
3. 次に、下段左のツマミをお好みの時間に合わせて下さい。
4. 次に、下段右のツマミをお好みのスピードに合わせて下さい。
5. 最後に、上段左のスタートボタンを押して下さい。
* 2～3秒後に、ベルトが作動を始めます。
6. 作動の途中で終了する時には、ストップボタンを押して下さい。



機能説明

ベルトの振動によるマッサージは、手技によるマッサージと同様に「もむ」に近い感触と、「ふるわせる」に近い感触と、交互振動が効果的です。

ベルトトレーナーDXでは、この各々感触を振動の速さ（変化）で捕らえ決めています。

* 「もむ」は、スピード [4]

* 「ふるわせる」は、スピード [6～7]

自動でお使いの場合

1. 先ず最初に、使用目的に合ったベルトを取り付けて下さい。
2. 次に、電源を確認して下さい。
中段左のランプが消灯している場合は、コンセントを差し込んで下さい。
3. 次に、上段左のつまみを自動に合わせて下さい。
4. 次に、上段中のつまみを3分、5分、連続のいずれかに合わせて下さい。
5. 最後に、下段左のスタートボタンを押して下さい。

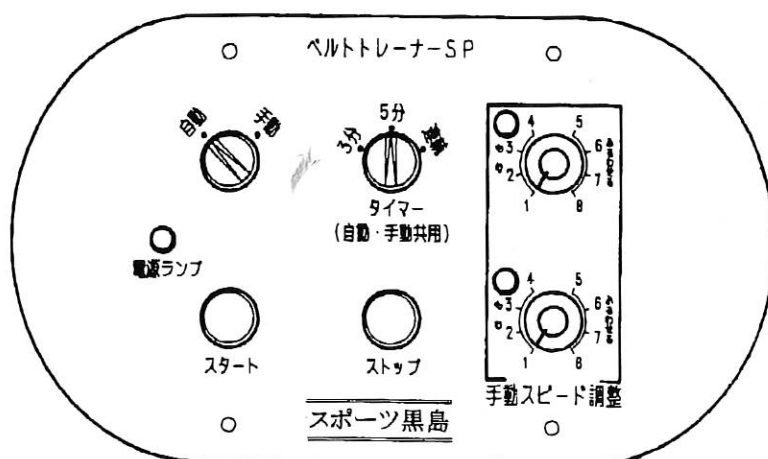
* 2～3秒後に、ベルトが作動を始めます。

先ず、最初の30秒間は「もむ」の作動、次の30秒間は「ふるわせる」の作動となります。

* 使用時間：3分間の指示では、「もむ」、「ふるわせる」の作動を3セット行い自動的に止まります。5分間の指示では、「もむ」、「ふるわせる」の作動を5セット行い自動的に止まります。

* 連続使用の指示の場合は、「もむ」、「ふるわせる」の作動を連続して繰り返しますのでご希望の時間でストップボタンを押して下さい。

6. 連続使用の指示の場合は、終了する時にストップボタンを押して下さい。



手動でお使いの場合

1. 先ず最初に、使用目的に合ったベルトを取り付けて下さい。
2. 次に、電源を確認して下さい。中段左のランプが消灯している場合は、コンセントを差し込んで下さい。
3. 次に、上段左のつまみを手動に合わせて下さい。
4. 次に、上段中のつまみを3分、5分、連続のいずれかに合わせて下さい。
5. 次に、右側の手動スピード調整枠内上段の赤字の数字（「もむ」のスピード）を指示して下さい。
次に、右側の手動スピード調整枠内下段の赤字の数字（「ふるわせる」のスピード）を指示して下さい。
場合によっては、上下段とも「もむ」に合わせたり、「ふるわせる」に合わせたりして、自由に使うことも可能です。

6. 最後に、下段左のスタートボタンを押して下さい。

* 2～3秒後に、ベルトが作動を始めます。

先ず、最初の30秒間は「もむ」の作動、次の30秒間は「ふるわせる」の作動となります。

* 使用時間：3分間の指示では、「もむ」、「ふるわせる」の作動を3セット行い自動的に止まります。5分間の指示では、「もむ」、「ふるわせる」の作動を5セット行い自動的に止まります。

* 連続使用の指示の場合は、「もむ」、「ふるわせる」の作動を連続して繰り返しますのでご希望の時間でストップボタンを押して下さい。



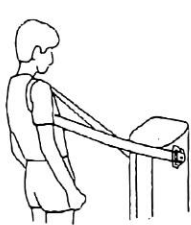

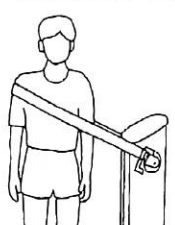





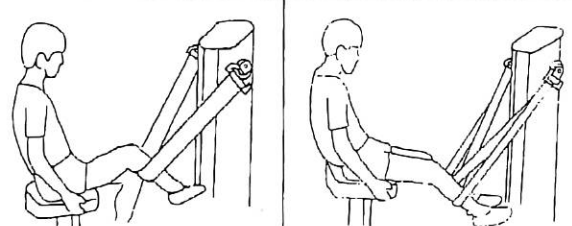
7. 連続使用の指示の場合は、終了する時にストップボタンを押して下さい。

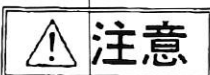
使用方法

ベルトの選択

- (1) シングルベルト (幅が広い)
主に、腰部、臀部、および脚部に適当
- (2) ダブルベルト (幅が狭い)
主に、肩周辺部に適当

使用方法

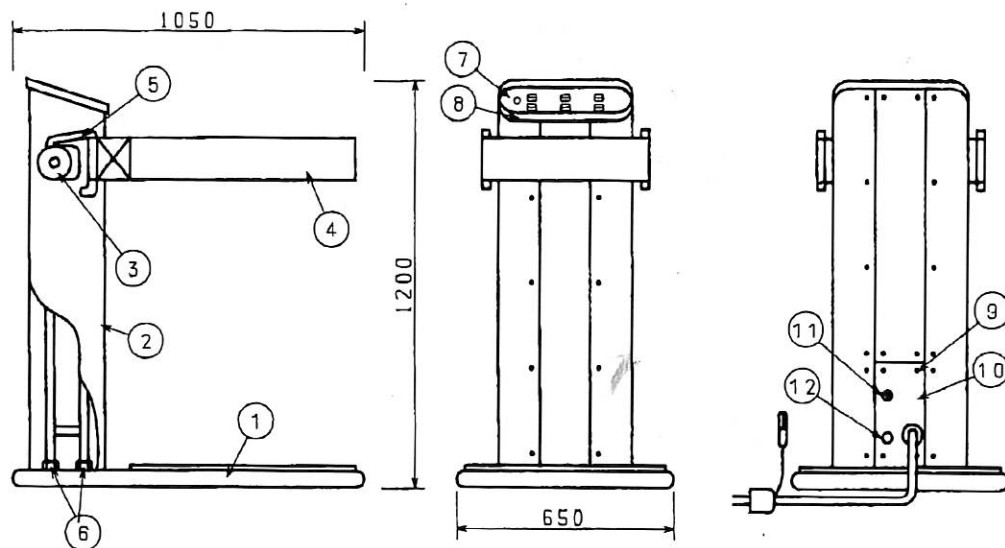
(1) 肩に凝り感がある場合				(2) 肩関節周辺に疲労感がある場合		
肩の中央部		両肩の中央部		肩関節後側面	肩関節前側面	肩関節外側面
						
(3) 腰および臀部に『重い』『だるい』の疲労感などがある場合						
腰部			臀部			
						
(4) 脚に『重い』『だるい』の疲労感などがある場合						
大腿部前側部	大腿部後側部	大腿部内側部	大腿部外側部	下腿部後側部		
						



注意

・・・「痛い」、「痺れる」の症状のある場合には、必ず医師の診断をお受け下さい。

各部の名称および組立方法



*図：ベルトトレーナーSP

各部名称

- | | | | |
|---------|----------|-----------------|--------|
| ① ベース | ② 本体 | ③ 偏芯板 | ④ ベルト |
| ⑤ ベルト金具 | ⑥ M10ボルト | ⑦ コントロールパネル | ⑧ ふちゴム |
| ⑨ ビス | ⑩ カバー | ⑪ 電源スイッチ (SPのみ) | ⑫ ヒューズ |

組立方法

1. ベース①に取り付けているM10ボルト⑥を4本はずします。
2. ベース①の上に図のように本体②をのせます。
3. ビス⑨を4本はずしてカバー⑩を取りはずします。
4. 本体②をベース①にM10ボルト⑥を4本でしめつけます。
5. カバー⑩をビス⑨の4本でしめつけます。
6. 最後にベルト④をベルト金具⑤にかけて完成です。

仕様

品名	ベルトトレーナーSP	ベルトトレーナーDX
品番	ROE-772	ROE-771
外形寸法	650 (W) × 1050 (L) × 1200 (H) mm	
電源・電力	AC100V・10A・200W	
総重量	55kg	
AVMシステム	○	-
振動速度調整	○	○
タイマー	3分・5分・連続	ダイヤル式15分
許容動作温度	-10°C ~ +40°C	
許容保存温度	-20°C ~ +60°C	
許容相対湿度	80%以下 (結露のないこと)	
付属品	ベルト (広幅シングルタイプ・細幅ダブルタイプ)	